

## 第3学年 国語科学習指導案

日 時 平成25年10月18日(金) 5校時  
 児 童 男子17名 女子14名 計31名  
 指導者 織笠 力

- 1 単元名 せつめいのしかたを考えよう (光村3年下)  
 教材名 「すがたをかえる大豆」「食べ物のひみつを教えます」

2 単元を貫く言語活動とその特徴

| 身に付けたい力   | 言語活動設定の理由  |
|---|--|
| ◎目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。(読イ)<br>◎書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。(書ウ) | ① 単元を貫く言語活動<br>本単元では、児童が教材文「すがたをかえる大豆」で読み取った筆者の分かりやすい説明のしかたを生かし、食べ物の変身についての情報を収集・選択し、「食べ物変身図鑑」にまとめて、交流する活動を行う。<br>② 言語活動の特徴<br>「食べ物変身図鑑」を作るために、筆者の分かりやすい書き方を見つけるという目的意識をもたせることで主体的な読み取り方ができる活動である。また、自分が興味を持った食べ物について調べることで筆者の主張である先人の知恵について実感し、説明文を読む楽しさを味わうことができる活動である。<br>③ 単元の目標の実現にどのように結びつくのか<br>児童が教材文を読み取るとともに、筆者の分かりやすい説明のしかたを見つけ、それを自分が書く「食べ物変身図鑑」に生かすことにより、児童の読むことと書くことの力が相互に高まると考える。 |
| 言語活動<br>★ゴールとしての言語活動  |  |
| ★自分が選んだ食材について「食べ物変身図鑑」を作る。  |  |

3 単元について

(1) 児童について

6月には、説明文「ありの行列」で、問いやまとめの言葉、順序や時間の経過が分かる語句に着目した読み取りを進めてきた。そのため、それらのことを意識した読み取りができる児童が増えてきた。段落については、言葉では説明できないが視覚的には理解しており、多くの児童が形式段落に自力で番号をふることができる。また、小見出しまではつけられないが、全員で読み進めると、段落ごとの大体の内容は理解できるようになってきている。

言語に関する実態については、学習の中で、短文作りを楽しんでいる児童は多いが、日記や作文など、長文を書くことへの意欲が低い児童がいる。また、句読点や「」の使い方、主述の整った文章の書き方が十分とはいえない児童もいる。書く時間についても、個人差が非常に大きい。食物の加工に関する内容については、断片的な知識にとどまっており、初めて知ることが多いことが予想される。

事前テストの結果を見ると、児童は、段落の内容を大まかに読み取るとはまずまずできているものの、文章と挿絵を対応させることを苦手としている児童が多い。また、1・2段落をはじめの部分とするような、いつもとは違った分け方の文章では、はじめ・中・おわりを正しく分けることができない児童が少なくないことが分かった。中心となる語を探すことでは、すぐに見つけられた児童となかなか見つけることができない児童の力の差の大きさを感じた。

児童の実態を知るために事前テストを行った。(8月29日実施 対象児童31名)

|   | 項 目                           | ◎  | ○  | △  |
|---|-------------------------------|----|----|----|
| ① | 文章をはじめ、中、おわりの3つの部分に分けることができる。 | 15 | 7  | 9  |
| ② | 段落の内容を大まかに読み取ることができる。         | 23 | 6  | 2  |
| ③ | 文章と挿絵を対応させて読むことができる。          | 11 | 15 | 14 |
| ④ | 中心となる語を探すことができる。              | 18 | 0  | 13 |

## (2) 教材について

学習指導要領第3及び第4学年における、「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身につけさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」であり、「書くこと」の目標は、「相手や目的に応じ調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身につけさせるとともに、工夫しながら書こうとする態度を育てる。」である。どちらの目標も、相手や目的に応じて行う能力を身に付けることが求められている。

また、本単元に関わって読むことの重点は、指導事項イ「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。」であり、書くことの重点は、指導事項ウ「書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。」である。

本教材は、身近な大豆やその加工品について書かれた説明的な文章である。文中に出てくる大豆の加工品は、見ただけでは大豆からできているとは気付かないものも多く、児童たちが意外性をもって読み進められる内容である。文章構成は、「ありの行列」のような仮説・検証型とは異なり、初めに説明する対象物を提示し、それについての説明を施すという解説型になっている。段落構成や中心文、キーワードが明確であるとともに、接続語が多く使われているため、読み取りやすい教材であるといえる。

本単元で児童は、「くふう」「すがた」「手の加え方」を手がかりに中心となる語や文に目を向け、それらを比べながら読んだり、「次に」「また」などの接続語の働きによって、論理の展開をとらえたりすることができる。その中で、大豆を様々な姿に変えていく事例にふれ、筆者の考えである「昔の人々の知恵」に共感することができる。また、興味をもった食べ物について、本を使って調べることで、必要な情報を適切に収集、選択する初歩的な力を育てることができる。さらに、教材文の文章構成を参考にして、食材が姿を変える解説文を書き、感想を交流し合うことで、友達の表現のよさに目を向け、自分の表現に生かそうとする態度を育てることもできる。

### (3) 指導について

本単元の指導にあたって、次のような点に留意していきたい。

- ① 単元の導入段階で、実際に大豆とそれを料理した物や加工品を提示し、それらが全て大豆でできていることを知ることで、大豆という素材に興味・関心をもつことができるようにする。
- ② 大豆以外の食品にも興味を広げ、本教材文の構成を参考に、「みんなが調べたことをまとめた本にする」というゴールの言語活動を設定し、目的意識をもって読み進められるようにするとともに、並行読書に取り組みせ、取材カードを書きためておくようにする。
- ③ 「すがたをかえる大豆」の読み取りでは、筆者の考えと用いられている事例や写真とを関連付けて読み、自分の「食べ物変身図鑑」に取り入れたい工夫点を見つけて読み進めるようにする。
- ④ 「すがたを変える大豆」の読み取りや「食べ物変身図鑑」のモデルを作って提示し、学習の過程が具体的に分かるようにする。
- ⑤ 児童が、分かりやすい説明のしかたを意識しながら学習を進められるように、文章全体の構成や「中」の展開、表現上の工夫などについてワークシートにまとめながら読み進める。ワークシートは、「食べ物変身図鑑」と同じような形式で作成し、書くときに生かせるようにする。
- ⑥ 完成した「食べ物変身図鑑」を読み合い、感想を交流し合うことで、友達や自分の表現のよさに気づき、今後の自分の表現に生かすことができるようにする。
- ⑦ 単位時間ごとの振り返りを行うことにより、自分の学習の成果や課題を確認するとともに、友達の説明のしかたのよさに気づかせる。

## 4 単元の位置付け

<2年>

<3年>

<4年>

しかけカードの作り方  
・読んで、説明の仕方を考える。

おもちゃの作り方  
・「読むこと」の学習を生かして説明する文章を書く。

イルカのおむり方・ありの行列  
・まとまりに気をつけて読む。  
・「問い」と「答え」とは何か、どのように「答え」を出したかを読む。

すがたをかえる大豆・食べ物のみみつを教えます  
・文章全体の組み立て方段落ごとの書き方、文の書き方に注意して読む。  
・説明のしかたを考える。  
・「読むこと」の学習を生かして、説明する文章を書く。

かるた  
・まとまりごとの内容を読み取り、小見出しをつける。

アップとルーズで伝える  
・説明のしかたについて考える。

「仕事リーフレット」を作ろう  
・「読むこと」の学習を生かして、説明する文章を書く。

## 5 単元の目標

### 【関心・意欲・態度】

- ・疑問や課題を明確にしながらか調べようとしたり、調べて分かったことを報告する文章を書き表したいという思いをふくらませて書こうとしたりすることができる。

### 【書くこと】

- ・書こうとすることの中心が明確に伝わるよう、理由や事例を挙げて調査報告書を書くことができる。 (書ウ)

### 【読むこと】

- ・目的に応じて、中心となる語や文をとらえ、筆者の考えと事例など段落相互の関係を考えながら読むことができる。 (読イ)

### 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する指導】

- ・文や段落相互の関係を示す手掛かりとしての接続語の役割を理解することができる。(伝国(1)イ(ク))

## 6 単元の評価規準

| 国語への関心・意欲・態度  | 書く能力  | 読む能力   | 言語についての知識・理解・技能  |
|---|---|--|--|
| ・疑問や課題を明確にしながらか調べようとしたり、調べてわかったことを報告する文章を書き表したいという思いをふくらませて書こうとしたりしている。 | ・相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係や事例の取り上げ方などに注意して文章を書いている。 | ・目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら本や文章を読み、ワークシートに整理してまとめている。 | ・文や段落相互の関係を示す手がかりとしての接続語の役割を理解し、文章を読み取ったり、説明文を書く際に正しく使ったりしている。 |

## 7 単元の指導計画 (全14時間)

| 時   | 指導目標  | ゴールに向かうための言語活動   | 評価規準 (評価方法)  |
|-----|---|--|--|
| 第1次 | 1<br>・身近な食べ物の秘密について興味をもつことができる。                   | ・身の回りの食べ物を振り返ったり、食べ物について書かれた本を読んだりして、身近な食べ物の秘密について話し合う。              | 【関】興味をもったことを調べて、調査報告書を書くための見通しを立てようとしている。(*ワークシート) |
|     | 2<br>・学習の進め方や調査結果のまとめ方などについて話し合い、学習の見通しをもつことができる。 | ・学習の進め方や調査結果のまとめ方などについて話し合い、学習計画を立てる。<br>・自分が調べてみたい食材を出し合い、取材方法を考える。 |  |
| 第2次 | 3<br>・調べたい食材に関する必要な情報の収集のしかたを理解することができる。          | ・付箋を利用し、自分が興味をもった事柄や疑問の解決につながる文や文章に目印をつける。                           | 【読】段落相互の関係を考え、文章の構成を説明したり書き表したりしている。(*発言・ワークシート)   |

|     |    |  |  |  |
|-----|----|--|--|--|
|     |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「食べ物変身図鑑」に用いるために必要な箇所を取材カードに書く。</li> <li>・5時～8時の各時間の終末の15分間を並行読書による情報収集に取り組む時間に充てる。</li> </ul> |  |  |
|     | 4  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・段落のつながりに留意しながら、説明文の構成を読むことができる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・形式段落に小見出しを付け、「はじめ」「中」「終わり」の3つの部分に分ける。</li> <li>・「はじめ」「中」「終わり」の役割割について、話し合う。</li> </ul>   | 【読】並行読書で選んだ本から、自分の報告書に取り入れるために、中心となる文と、その事例を捉えて読んでいる。（*取材カード）            |
|     | 5  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の文章に生かしたい書き方を見つけながら、大豆の特徴を読むことができる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「はじめ」の部分を読み取る。</li> <li>・分かりやすく、読み手に興味を持たせるような話題提示の工夫について話し合う。</li> </ul>  | 【読】「はじめ」の部分に、筆者が何をどのように書いているのかを、読み取っている。（*発言・ワークシート）                     |
|     | 6  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「終わり」の部分を読み取り、内容をワークシートに整理する。</li> <li>・文章全体のまとめになる文と筆者の考えが述べられている文で構成されていることを話し合う。</li> </ul>   | 【読】「終わり」の部分に、筆者が何をどのように書いているのかを読み取って、ワークシートに整理したり、発言したりしている。（*発言・ワークシート） |
|     | 7  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「中」の部分では、段落ごとに何がどの順番で書かれているかを考え、ワークシートに整理する。</li> <li>・接続語を使いながら順序よく説明していることを話し合う。</li> <li>・一つの段落に、一つの工夫と具体例を挙げ、分かりやすく説明していることを話し合う。</li> </ul> | 【読】「中」の部分に、筆者がどのように書いているのかを読み取って、ワークシートに整理したり、発言したりしている。（*発言・ワークシート）     |
|     | 8  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「はじめ」「中」「おわり」では、どんな分かりやすい説明のしかたがなされていたかについて話し合い、整理する。</li> </ul>   | 【読】例を挙げて説明する文章の、分かりやすい書き方を理解している。（*発言・ワークシート）                            |
| 第3次 | 9  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・収集した情報が十分かどうか見直した上で、「食べ物変身図鑑」の基本的な構成を確かめ、自分の文章の構成を考えて構成メモにまとめることができる。</li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・取材時に書き溜めたカードを分類整理し、自分が書きたいことに応じた情報が収集出来ているか、内容と分量の両面から見直す。</li> </ul>  | 【関】食べ物について関心をもち、課題に合わせて調べようとしている。（*観察・取材カード）                             |
|     | 10 |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「食べ物変身図鑑」の基本的な構成を確かめ、自分の文章の構成を考えて構成メモにまとめる。</li> </ul>   | 【書】書く目的によって必要となる事項と観点を理解し、取材している。（*取材カード）                                |

|                        |   |  |   |
|------------------------|---|--|---|
| 11<br>12<br>13<br>(本時) | ・自分が選んだ材料について、構成メモをもとにしながら「はじめ」「中」「終わり」の全体の構成を考え、「中」には具体的な例を挙げて文章を書くことができる。 | ・P36～P37の文章例を参考にしながら、「はじめ」と「終わり」の部分の文章を書く。                           | 【書】「中」の部分で、内容のまとまりごとに段落を分け、文章を構成している。(*食べ物変身図鑑下書き)<br>【書】目的に応じて、事例を挙げて書いている。(*食べ物変身図鑑下書き)<br>【書】接続語を適切に使って文を書いている。(*食べ物変身図鑑下書き) |
|                        |   | ・P36～P37の文章例を参考にしながら、「中」の部分の文章を書く。<br>・書いた文章を友だちと読み合い、相互評価する。        |   |
|                        |   | ・自分の書いた文章を確認事項をもとに読み返し、推敲する。<br>・消書きし、「食べ物変身図鑑」を完成する。                |   |
| 14                     | ・友だちの「食べ物変身図鑑」を読み、感想を書くことができる。  | ・分かりやすい説明のしかたをふまえながら、友だちの文章を読み合う。<br>・友だちの作品で分かりやすく説明できているところを発表し合う。 | 【書】友だちからの感想や友だちの作品の良さに触れて、文章の構成や表現のしかたなどについて感想をもっている。(*発言・ノート)  |

## 6 本時の指導

### (1) 目標

自分が選んだ材料について、メモをもとにしながら「中」の段落に具体的な例を挙げて文章を書くことができる。

### (2) 提案したいこと

- ・「すがたをかえる大豆」で学習した分かりやすい説明のしかたを確かめてから文章を書く作業に取り組むことにより、児童は、文章全体の構成や接続詞の使い方などを考えながら、文章を書くのではないか。
- ・取材カードを活用しながら文章作成の作業を進めることにより、児童は、説明の順番を考えたり、具体的な例を挙げたりしながら文章を書くのではないか。

### (3) 展開

| 段階        | 学習内容・活動<br>(○主な発問・指示      ・予想される児童の反応)   | 指導上の留意点<br>(*評価    △支援を要する児童への手立て) |
|-----------|--|------------------------------------|
| つかむ<br>5分 | 1 前時を想起し、本時の学習課題を確認する。<br>○選んだ材料は、どのような食品に姿を変えていましたか。調べた内容をもとに、食べ物の変身のしかたを説明する文章を書きましょう。 |                                    |

えらんだざいりょうについて、分かりやすいせつめいのしかたを考えながら、「食べ物へんしん図かん」のせつめいを書こう。

ふかめる

2 「すがたをかえる大豆」で学習した分かりやすい説明のしかたの中で、自分の図鑑に生かしたいものを確認する。

○自分の図鑑を書くときに、どの分かりやすい説明のしかたを取り入れたら分かりやすいですか。

- ・事柄ごとに、段落を分ける。
- ・具体的な例を挙げて説明する。
- ・写真や絵を使って分かりやすくする。
- ・中心となる文を段落の最初に書く。
- ・作りやすい順番に説明する。
- ・「次に」「さらに」などの文をつなぐ言葉を使う。
- ・文の終わり（「～です。」「～ます。」）に気をつける。

○分かりやすい説明のしかたのポイントをまとめると次の3つになります。

- ①一つの段落で一つの食べ物についての説明を書き、段落毎に分ける。
- ②「まず」「次に」「さらに」という接続を使って順番をわかりやすくする。
- ③食べ物の名前→作り方の順序で書く。

3 3つのポイントに気をつけながら、文章を書いてみましょう。

○では、自分が選んだ材料について、分かりやすい説明のしかたを考えながら、「食べ物変身図鑑」を書きましょう。

・二次で使用した文章全体の組立の説明や「中」の具体的な説明などを拡大図として掲示するようにし、児童が既習の学習内容を視覚的に振り返ることができるようにする。

・後で推敲しやすいように、下書き専用の原稿用紙に、一段落ごとに文章を書かせる。下書きの原稿用紙は、読みなおして書き加えることができるよう、行間隔を広めに取ったものを用意する。

・並行読書で集めておいた写真や絵を入れられるスペースを作り、説明を書き終わった後に挿入することを確認する。

・後で推敲しやすいように、下書き専用の原稿用紙に、一段落ごとに文章を書かせる。下書きの原稿用紙は、読みなおして書き加えることができるよう、行間隔を広めに取ったものを用意する。

・新しい事柄を述べ始めるときは、「すがたをかえる大豆」で学習した接続語の使い方を参考にさせる。

△調べたことがなかなか文章化できない児童には、教科書の文章例と同じ文で書かせるようにする。文章例の「米」「もち」「白玉」のところを自分が調べた材料や食品に変えさせる。

\*3つのポイントに気をつけ文章を書いている。(原稿用紙)

|                       |   |   |
|-----------------------|---|---|
| 35分                   | <p>4 書いた文章をペアで交流する。</p> <p>(1)書いた文章を読み合い、3つのポイントができているか、確かめ合う。</p> <p>○となりの人が書いた文を読み、3つのポイントができているか確かめましょう。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>書き終えた児童には、3つのポイントについて間違いがないかを確認させる。</li> <li>早く書き終わった児童には、挿絵を描くように指示する。</li> <li>具体的な事例を挙げて、文章を順序よく書いているか確かめさせたい。</li> </ul> |
| <p>まとめる</p> <p>5分</p> | <p>5 本時の学習を振り返り、全体で交流する。</p> <p>○今日の学習の振り返り、分かったことやできるようになったこと、友だちの書き方のよさを振り返りましょう。</p> <p>6 次時の学習内容を確認する。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価の形で、今日の学習の振り返りをさせ、満足感・成就感をもたせる。</li> </ul>   |

(4) 板書計画

せつめいのしかたを考えよう

えらんだざいりょうについて、分かりやすいせつめいのしかたを考えながら「食べ物へんしん図かん」を書こう。

まず、ごはんです。米をといで、水につけてからたくと、ほかほかのごはんになります。

次に、もちがあります。もちにする米は、もち米といくとべつの米です。これをむして、うすときねでつくど、もちになります。もちつきのかいもあります。

さらに、白玉にもなります。もち米をこなにしたものに、水を入れて練ります。これをゆでたりふかしたりすると、白玉になります。

◎分かりやすいせつめい、三つのポイント。

- 一つのだんらくに、一つのくふうについて書く。
- 「まず」「次に」「さらに」などの文をつなぐことばを使う。
- 食べ物の名前↓作り方の順序で書く。



言語活動設計図

教材名 「すがたをかえる大豆」「食べ物のひみつを教えます」

| 14  |    | 3  |    |    | 2   |   |   |   |   | 1  |   | 次時 |   |   |  |  |   |  |  |   |              |   |  |  |  |  |  |                |
|---|----|--|----|----|---|---|---|---|---|--|---|----|---|---|--|--|---|--|--|---|--------------|---|--|--|--|--|--|----------------|
| 14  | 13 | 12   | 11 | 10 | 9   | 8 | 7 | 6 | 5 | 4  | 3 | 2  | 1 | 1 |  |  |   |  |  |   |              |   |  |  |  |  |  |                |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>友だちの「食べ物変身図鑑」を読み、感想を書く。</li> </ul>   |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>文章全体の構成を考えながら、自分の説明文を書く。</li> </ul>                                 |    |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>既習の説明文を参考にしながら、自分の説明文の構成を考える。</li> </ul>   |   |   |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の文章に生かしたい書き方を見つげながら、大豆の特徴を読む。</li> </ul>  |   |    |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>調べたい食材に関する必要な情報の収集のしかたを理解する。</li> </ul>   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>段落のつながりに留意しながら、説明文の構成を読み取る。</li> </ul> |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の見通しを持つ。</li> </ul> |   | 身に付けた力を支える要素 |   |  |  |  |  |  |                |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすい説明の仕方を踏まえながら、友だちの文章を読み合う。</li> <li>友だちの作品で分かりやすく説明できているところを発表し合う。</li> </ul> |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の書いた文章を確認事項をもとに読み返し、推敲する。</li> <li>清書し、「食べ物変身図鑑」を完成する。</li> </ul> |    |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>書きたいことに応じた情報が収集出来ているか、内容と分量の両面から見直す。</li> <li>「食べ物変身図鑑」の基本的な構成を確かめ、自分の文章の構成を考えて構成メモにまとめる。</li> <li>三十六ページから三十七ページの文章例を参考にしながら、「はじめ」と「終わり」の部分の文章を書く。</li> <li>三十六ページから三十七ページの文章例を参考にしながら、「中」の部分の文章を書く。</li> <li>書いた文章を友だちと読み合い、相互評価する。</li> </ul> |   |   |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「はじめ」「中」「おわり」では、どんなわかりやすい説明のしかたがなされてきたかについて話し合い、整理する。</li> <li>「中」の部分では、段落ごとに何がどの順番で書かれているかを考え、ワークシートに整理する。</li> <li>接続語を使いながら順序よく説明していることを話し合う。</li> <li>一つの段落に、一つの工夫と具体例を挙げ、分かりやすく説明していることを話し合う。</li> </ul> |   |    |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「はじめ」の部分を読み取る。</li> <li>「はじめ」の部分を話し合う。</li> <li>「終わり」の部分を読み取り、内容をワークシートに整理する。</li> <li>文章全体のまとめになる分と筆者の考えが述べられている分で構成されていることを話し合う。</li> </ul> |  |   |  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>付箋を利用し、自分が興味を持った事柄や疑問の解決につながる文や文章に目印をつける。</li> <li>「食べ物変身図鑑」に用いるために必要な箇所を情報カードに書く。</li> <li>※五時～八時の各時間の終末の五分間を並行読書による情報収集に取り組む時間に充てる。</li> </ul> |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>形式段落に小見出しを付け、「はじめ」「中」「終わり」の三つの部分に分ける。</li> <li>「はじめ」「中」「終わり」の役割について、話し合う。</li> </ul> |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分が調べてみたい食材を出し合い、取材方法を考える。</li> </ul> |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの食べ物を振り返ったり、食べ物について書かれた本を読んだりして、身近な食べ物の秘密について話し合う。</li> <li>学習の進め方や調査結果のまとめ方などについて話し合い、学習計画を立てる。</li> </ul> |  | ゴールに向かうための言語活動 |